

連絡先：自動車局 審査・リコール課 リコール監理室
 TEL：03-5253-8111 内線42361
 アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：令和3年4月6日

リコール届出番号	4934	リコール開始日	令和3年4月7日
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 日高 祥博 問い合わせ先：カスタムコミュニケーションセンター 0120-090-819		
不具合の部位（部品名）	動力伝達装置（ベルト駆動用プーリの締付けナット）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	動力伝達装置において、ベルト駆動用プーリの締付け部の構造が不適切なため、走行中に当該プーリの締付けナットが緩むことがある。そのため、当該プーリがケースカバーと接触して異音が発生し、そのまま使用を続けると、ナットが脱落し、最悪の場合、エンストして再始動できなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、ベルト駆動用プーリの締付けナットとワッシャを対策品と交換し、ナットの締付けトルクを変更する。		
不具合件数	51件	事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車特定整備事業者等に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車特定整備事業者等：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・弊社のインターネットホームページに掲載する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤマハ	JBK-SG28J	「マジェスティS XC155」	SG28J-001001～SG28J-025116 平成25年9月14日～平成29年8月23日	23,400台	
	2BK-SG52J	「マジェスティS XC155」	SG52J-001001～SG52J-010710 平成29年12月19日～令和3年2月24日	9,258台	
	(計2型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成25年9月14日～令和3年2月24日	(計32,658台)	

(備考) 本届出は、平成29年11月7日付け「届出番号533」の改善対策届出と同様な問題であるが、継続調査の結果、他機種においても不具合が発生するおそれのあることが判明したため、リコールを実施するものである。

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれています。